

審議（１）審査項目の見直しについて

現 行

項 目	審査基準の説明	配点
市民ニーズ適合性	市民の多様なニーズ（需要・要望）を捉え、それらに対応した内容となっている。	5
効果性	その事業により、不特定多数の方への利益や、まちづくりに寄与するなど、公益的な効果が見込める。	5
全体の整合性	事業目的を実現するための手段や方法等が適切であり、事業を構成する各要素がお互いに合理的につながっている。	5
発展性	事業が将来に向けて持続していくか、事業の効果が広く地域に普及していくことが見込まれるとともに、今後当該事業が事業対象の拡大や事業内容の改善等を行いながら発展していく可能性がある。	5
地域の課題・特性 （熊本らしさ）	熊本に愛着を持ち、どんな熊本にしたいのか、どんな熊本の未来につながる事業なのかなど、地域課題に焦点を当てた熊本らしさをアピールする取り組みである。	5

改正案

項 目	審査基準の説明	配点 （案A）	配点 （案B）
市民ニーズ適合性	市民の多様なニーズ（需要・要望）を捉え、それらに対応した内容となっている。	5	10
事業計画性	事業目的を達成するための手段や方法が適切であり、合理的に事業を実施することができる。	5	10
公益性	不特定多数の方への利益増進に寄与するなど、公益的な効果が見込める。	5	10
発展性	事業の持続性や事業効果が広く波及する見込みがあり、事業の拡大や改善等を行いながら発展していく可能性がある。	5	10
まちづくりへの ビジョン	本市に対する愛着と「事業を通じてどのような熊本市にしていきたいか」というビジョンを持った、よりよい熊本市づくりを目指す取り組みである。	5	10

あわせて、各項目により詳細な審査基準（資料3）を新設したい。

（改正理由）

- 審査基準及び申請書様式の変更（資料2、3、4）

審査基準及び申請書の表現等を見直すことで、申請者にとっては事業を整理しやすく、審査委員にとっては書類のみでも審査できるようなものに変更したい。また、各審査項目により詳細な審査基準を設置することで、評価の視点の共有化を図りたい。

- 審査項目『熊本らしさ』の変更（資料2、3）

現行の審査基準である『地域課題や特性に焦点を当てた「熊本らしさ」をアピールする取り組みであるか』という観点では全国的なテーマや課題を取扱う事業への審査が難しいため、『よりよい熊本市づくりを目指す取り組み』を審査基準としたい。

- 配点の変更（資料2、3）

案A：現行から変更せず、極端な点数差を持たせないようにすることで、拮抗する事業の審議を行いやすくしたい。

案B：各委員による評価をより点数に反映させるため、5段階評価を10段階評価に改めたい。